

「グランドピアノをひいてみよう」

中央公民館大ホールにあるグランドピアノをひいたり、きみの児童合唱団の歌声を聴いたり、エコminiサークルと「手作り楽器」を作ったりするイベントが7月30日(土)大ホールで行われました。

きみの児童合唱団は、毎週土曜日の午前、視聴覚室で練習されています。またエコminiサークルは、月1回、主に土曜日から日曜日のどちらかを目安に活動されています。今回は、中央公民館主催 夏休みイベントとして、「グランドピアノをひいてみよう」をテーマに両団体がコラボしてくれました。

コロナ感染や熱中症対策として、空調とサーキュレーターを使用、換気のためドアの開放、検温、マスクの着用、手指の消毒、ピアノもアルコールで拭くなどの対応をして10時30分開会しました。指導者を含め、大人11名、子どもたち14名が参加しました。オープニングは児童合唱団の発表です。参加者も一緒に歌う企画でしたが感染防止のため、鑑賞させてもらいました。その後、エコminiサークルが用意してくれたペットボトルやプラスチック容器を使って、太鼓やマラカスなどの打楽器を作りました。

一方、舞台ではライトに照らし出されたグランドピアノに子どもたちが挑戦しました。初めてグランドピアノをひく子ども、お得意の曲をひく子もいて、先生からアドバイスをいただいたり、直接ひき方を教わる子もいました。立派なピアノが中央公民館にあったなんて知らなかったという声もありました。子どもたちが楽しそうにひく姿を見て、大人の方も興味を持たれピアノをひく方もいました。鍵盤を強くたたかなくてはと思っていたが半分の力でいい音が出たという感想もありました。予定の12時まであっという間に時間がたっていました。子どもたちも満足していましたが、大人もこんな機会があればという声もありました。土曜日の午前中や日曜日、大ホールは利用者もなく静かです。けれど、大ホールからピアノの音が館内に響く土日も、また、いいものだと思います。



(令和4年8月4日)